



【学校教育目標】「人間性豊かな心もち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 60 号
令和 3年 3月 5日

新しい様式での「3年生を送る会」①

校長 古市 直彦

1月の「緊急事態宣言の再発令」そして、2月の「延長」等により、幾度となく計画を変更しながら準備進めてきた今年の「3年生を送る会」でした。当初は、3年生だけでも体育館に集まってもらって…と考えていましたが、卒業式を安全・確実に実施するために、できる限りリスクを避けようという考えのもと、各教室でテレビ画面を通して…という、今回のような形での実施となりました。

いろいろ工夫はしたものの、各教室で、事前に作成した動画や画像等を観るといって1・2年生の感謝の気持ちを伝えられるか…という心配がありました。

結果は…。まずは、「3年生を送る会」の様子をふり返ってみます。

開会式後の最初の発表は、8組によるトーンチャイム演奏「いつも何度でも」でした。本年度、初めて1～3年の全学年の生徒が揃った8組。最後の共同活動となる、1～3年生全員



による演奏は、とても気持ちが込もっており、透き通った音色がスピーカーを通して校内に響き渡っていました。

1年生の発表は、各クラスで決めた3年生への感謝のメッセージを一文字ずつ書き、声ではなく、画像や映像を繋ぐことで伝えてくれました。



上の14枚は、当日発表されたものを更に編集して作成したイメージです。実際の発表内容とは異なります。



3年生のみなさん
どんなに離れていても
心はいつもここに
— 一人じゃない
みんなつながっている

学年発表の合間には、以前本校にいらした、3年生には懐かしい先生方からのビデオメッセージ等も紹介されました。

2年生の発表内容については次号で紹介しますが、今号では先に、閉会式の在校生代表生徒メッセージの内容を紹介します。



3年生の皆さん。3年生を送る会、いかがでしたか。

今年度はコロナウイルスの影響でテレビ放送で行いましたが、私たちは3年生の皆さんを少しでも喜ばせるために、準備などを頑張ってきました。そんな思いが、皆さんに少しでも届いていたら良いなと思います。

さて、入学当時からの3年間で振り返ってどう思いますか。楽しかった。大変だった。長かった。あっという間だった。感じ方は人それぞれだと思います。そして、卒業後はそれぞれ違う道を歩むと思います。

先輩方は、今まで私たちの先頭に立って、この学校を引っ張ってきてくださいました。当たり前のことを馬鹿にせずちゃんとやる。そんな皆さんの姿は、私たちの憧れでした。卒業後、どんな道を行っても、皆さんならきっと大丈夫です。自分の個性やこの学校で学んだことを生かしてこれからも頑張ってください。私達はいつでも応援しています。

そして、1・2年生の皆さん。3年生が卒業したら、この学校を引っ張っていくのは私達です。先輩方から学んだことを生かして、よりよい若松中を築いていきましょう。

最後になりますが、3年生の皆さん。卒業までのわずかな時間、思う存分楽しんで良い思い出を作ってほしいと思います。本当にありがとうございました。

生徒会長 _____ (2-5)



1・2年生が何とか感謝の気持ちを伝えようとしている熱意と工夫を感じ取ることができる「3年生を送る会」でした。

お知らせ

千葉市青少年相談員標語 入賞作品

「支え合い」というテーマで募集された今年の標語コンクール。3年生全員が応募しましたが、その中から次の2名が佳作に選出されました。作品とあわせて紹介させていただきます。

「顔あげて」 さしのべた手に 僕のぬくもり _____ さん (3-3)

苦しさも 君の言葉で 勇気になる _____ さん (3-4)

自転車保険の加入について

千葉市の条例の改定に伴い、4月1日からは、千葉市で自転車に乗る人は全員、自転車保険等への加入が義務化されることになりました。放課後や休みの日だけでなく、高校生が登下校で自転車を使う際も対象になります。自転車保険等は、自転車事故の加害者側にも被害者側にもなりうる生徒の皆さんを守るものになります。大人の加入も同様です。本日お子様を通して、案内のチラシをお配りします。各ご家庭で、自転車保険等への加入の有無をご確認いただきますよう、お願いいたします。

